2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社タウンズ　　上場取引所　東
コード番号　　197A　　ＵＲＬ　https://www.tauns.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）野中　雅貴
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員 管理本部長　（氏名）森田　智彦　　ＴＥＬ　055（953）9590

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	3,621	－	925	－	844	－	576	－
2026年６月期第１四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　544百万円（－%）　2026年６月期第１四半期　－百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	5.40	5.35
2026年６月期第１四半期	－	－

（注）2027年６月期第１四半期より連結財務諸表を作成しているため、2026年６月期第１四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	43,207	18,207	42.1
2026年６月期	－	－	－

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　18,206百万円　2026年６月期　－百万円
（注）2027年６月期第１四半期より連結財務諸表を作成しているため、2026年６月期の数値は記載しておりません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	14.00	－	14.00	28.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		14.50	－	14.50	29.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,730	―	4,374	―	4,026	―	2,965	―	27.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
当社は年次で業績管理を行っておりますので、第２四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規　1社　（社名）クレアボ・テクノロジーズ株式会社、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：有
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	106,813,093株	2026年６月期	106,691,686株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	－株	2026年６月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	106,762,049株	2026年６月期１Ｑ	103,178,998株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（会計方針の変更に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社グループは当第１四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）における体外診断用医薬品業界の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行が前年同期に比べ低位で推移した一方、インフルエンザは例年より早い８月末頃に流行期入りしました。また、前年同期にみられた市中在庫調整の影響は解消し、需給環境は平常化いたしました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は3,621百万円、営業利益は925百万円、経常利益は844百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は576百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

（体外診断用医薬品事業）

体外診断用医薬品事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の流行が前年同期に比べ低位で推移したものの、一定数の感染者が発生したことに加え、インフルエンザが例年より早い８月末頃に流行期入りしたことから、インフルエンザ検査キット及び新型コロナ／インフルエンザコンボ検査キットの需要に対応してまいりました。この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は3,613百万円、営業利益は989百万円となりました。

（その他事業）

その他事業におきましては、医療AI関連製品の販売拡大に向けた営業活動を推進するとともに、循環器領域を中心とした新製品の上市準備及び事業基盤の強化に取り組んでまいりました。この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は8百万円、営業損失は63百万円となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末における財政状態の概況は以下のとおりであります。なお、当社グループは当第１四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末との比較分析については記載しておりません。

① 資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は43,207百万円となりました。

このうち流動資産は15,940百万円となり、主な内訳は現金及び預金3,726百万円、売掛金4,384百万円、商品及び製品2,445百万円、仕掛品3,009百万円などであります。

また、固定資産は27,266百万円となり、主な内訳は有形固定資産15,140百万円（建物及び構築物9,900百万円、機械装置及び運搬具4,708百万円、土地1,734百万円など）、無形固定資産3,511百万円（顧客関連資産2,215百万円、ソフトウエア651百万円など）、投資その他の資産8,614百万円（投資有価証券8,578百万円など）などであります。

② 負債の状況

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は24,999百万円となりました。

このうち流動負債は12,882百万円となり、主な内訳は買掛金429百万円、短期借入金7,500百万円、1年以内返済予定の長期借入金2,247百万円などであります。

また、固定負債は12,116百万円となり、主な内訳は長期借入金10,116百万円、繰延税金負債1,640百万円などであります。

③ 純資産の状況

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は18,207百万円となりました。

主な内訳は、資本金404百万円、資本剰余金2,887百万円、利益剰余金14,862百万円の株主資本等合計18,155百万円、及びその他の包括利益累計額合計51百万円、新株予約権１百万円であります。

この結果、自己資本比率は42.1％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の通期連結業績予想につきましては、2026年８月13日に公表した業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	3,726,755
売掛金	4,384,917
商品及び製品	2,445,574
仕掛品	3,009,665
原材料及び貯蔵品	1,076,324
その他	1,297,244
流動資産合計	15,940,482
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	9,900,702
機械装置及び運搬具	4,708,787
土地	1,734,634
その他	1,608,113
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,811,300
有形固定資産合計	15,140,937
無形固定資産	
ソフトウエア	651,979
顧客関連資産	2,215,200
技術関連資産	472,466
その他	171,710
無形固定資産合計	3,511,357
投資その他の資産	
投資有価証券	8,578,231
その他	36,034
投資その他の資産合計	8,614,266
固定資産合計	27,266,561
資産合計	43,207,044

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部	
流動負債	
買掛金	429,310
短期借入金	7,500,000
１年内返済予定の長期借入金	2,247,639
未払法人税等	287,128
賞与引当金	154,604
その他	2,263,813
流動負債合計	12,882,496
固定負債	
長期借入金	10,116,643
繰延税金負債	1,640,827
退職給付に係る負債	347,165
資産除去債務	12,000
固定負債合計	12,116,636
負債合計	24,999,133
純資産の部	
株主資本	
資本金	404,392
新株式申込証拠金	801
資本剰余金	2,887,692
利益剰余金	14,862,522
株主資本合計	18,155,409
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	54,329
退職給付に係る調整累計額	△2,916
その他の包括利益累計額合計	51,412
新株予約権	1,088
純資産合計	18,207,910
負債純資産合計	43,207,044

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,621,804
売上原価	1,358,036
売上総利益	2,263,767
販売費及び一般管理費	1,337,941
営業利益	925,826
営業外収益	
受取利息	6,977
受取配当金	161
その他	264
営業外収益合計	7,403
営業外費用	
支払利息	88,627
その他	481
営業外費用合計	89,109
経常利益	844,120
特別利益	
固定資産売却益	1,322
特別利益合計	1,322
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	845,442
法人税等	268,837
四半期純利益	576,605
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,605

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	576,605
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△32,302
退職給付に係る調整額	153
その他の包括利益合計	△32,149
四半期包括利益	544,455
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	544,455
非支配株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更に関する注記）

（退職給付債務の計算方法の変更）

当第１四半期連結会計期間より、当社の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、採用計画に対する増員が着実に進捗していることに基づき、原則法の採用により退職給付債務計算の見積りの精度を高め、退職給付費用を期間損益計算により適切に反映できると判断したためであります。当該会計方針の変更は、遡及適用され、当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、当連結会計年度の期首残高は、退職給付債務は119,265千円増加し、繰延税金負債は39,686千円、利益剰余金は79,508千円、退職給付に係る調整累計額が3,070千円減少しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自2026年７月１日　至2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注１）	合計	調整額	四半期連結財務諸表計上額（注２）
	体外診断用医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,613,251	8,553	3,621,804	－	3,621,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
セグメント利益又は損失（△）	989,679	△63,852	925,826	－	925,826

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２.報告セグメント変更等に関する事項

当社グループは従来、体外診断用医薬品事業の単一セグメントとしておりましたが、クレアボ・テクノロジーズ株式会社が連結子会社となったことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、新たにその他の区分としてセグメント情報を開示しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	当第１四半期連結累計期間（自2026年７月１日 至2026年９月30日）
減価償却費	402,631千円